

平成22年6月14日

九州フォーミング株式会社

第38期

(平成21年4月1日から平成22年3月31日)

貸借対照表

個別注記表

貸借対照表

(平成 22年 3月 31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	213,662	流動負債	184,867
現金及び預金	282	支払手形	11,943
受取手形	10,223	買掛金	125,433
売掛金	143,544	未払金	1,393
仕掛品	2,213	未払費用	21,000
原材料	14,721	未払法人税等	8,822
貯蔵品	1,589	未払消費税	2,861
前払費用	1,050	賞与引当金	12,693
繰延税金資産	6,274	預り金	718
短期貸付金	34,993		
未収入金	12		
貸倒引当金	1,242		
固定資産	184,437	固定負債	56,161
有形固定資産	154,415	退職給付引当金	30,241
建物	85,858	その他の固定負債	25,920
構築物	6,830		
機械及び装置	27,919	負債合計	241,028
車両及び運搬具	11	(純資産の部)	
工具・器具及び備品	2,242	株主資本	157,071
土地	31,552	資本金	30,000
無形固定資産	830	利益剰余金	127,071
ソフトウェア	830	利益準備金	5,850
投資その他の資産	29,191	その他利益剰余金	121,221
繰延税金資産	11,182	繰越利益剰余金	121,221
その他の投資等	18,009	純資産合計	157,071
資産合計	398,099	負債・純資産合計	398,099

(注) 当期純利益 5,974千円

個別注記表

1. 記載金額につきましては、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料は総平均法による原価法、仕掛品及び貯蔵品は個別法による原価法。

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

有形固定資産については定額法を採用しております。

無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込有効期間(5年)に基づいております。

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法の業種別繰入率による繰入額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

3. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 392,472 千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項 (単位:株)

株式の種類	前事業年度末株式数	当事業年度末株式数
普通株式	60,000	60,000

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、退職給付引当金、賞与引当金の否認等であります。